

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Salta		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応での療育	個別スペースを設けて、1対1対応や少人数対応で、子どもの特性や興味・関心に合わせて活動を行っている。	支援者1人1人の技能を向上させるための研修を計画的に実施する。
2	進学支援・就労支援を行うための体制を整えている。	90分単位で療育を行い、時間帯を分けて受け入れることで、中高生の進路相談に対応しやすくしている。	進学先・就労先の特徴を支援者1人1人が意識して療育に迎えるよう、情報共有の場を定期的に設ける。
3	不登校児童・生徒への対応も行っている。	時間帯を分けて、個別対応、少人数対応を行うことで、集団が苦手な児童・生徒も利用しやすい環境を整えている。	児童・生徒、保護者への心理的なサポートをより充実させることができるよう、研修の場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との連携が不十分である。	長時間での利用が難しく、地域に出かけての活動の時間を取ることが難しい。	今後、就労を意識して活動をする児童・生徒に職業体験などで地域に出かける機会を設けることを検討していく必要がある。
2	集団活動を行う機会が持ちにくい。	少人数での受け入れ体制のため、集団活動を組むことが難しく、集団活動を通して身に着くソーシャルスキルなどの実践や課題把握が難しい。	個別のソーシャルスキルトレーニングや、対指導員、小集団での活動を通して可能な限り、社会生活に必要なソーシャルスキルなどの定着を図る。
3	利用枠、受け入れ人数に限りがある。	少人数での受け入れ体制であり、個別療育や小集団での療育を基本としているため、一度に利用できる人数が少ない。	指導員の育成のための体制を整え、より多くの利用者を受け入れられる体制を整えていく。